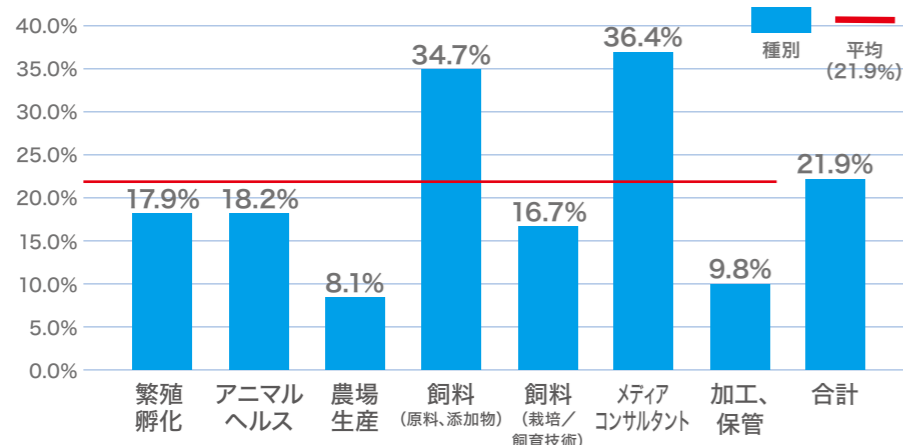


## 出展対象製品・サービス

**畜産・食肉製品に関する設備・飼料・サービス・加工技術・流通サービスなどが対象となります。**

飼育設備／飼育技術、飼料／飼料添加物、薬品／各種薬  
 繁殖向け設備／飼育機器、IT サービス、食肉加工機械／技術  
 食品包装機器／技術、農場／牧場設備、物流技術／サービス  
 食品検査／試験機器、保管／安全技術

## 市場拡大に伴う出展社数の成長率 2015～2017



## 来場対象

**来場に関する生産・加工・流通に関わるあらゆる専門家が来場します。**

**関連する品目** 養鶏 (食肉&卵)、養豚、乳牛、水産 (魚・エビ)、肉用牛 / 牛の繁殖、ペット

**業 種** 飼料メーカー / 卸、アニマルヘルス関連メーカー / 卸、農場、飼育工場、畜産機器メーカー / 卸、加工業者

## 展示会に関するお問い合わせは

■ 該当する箇所に✓をし、右記の必要項目をすべてご記入のうえ  
 本書を事務局までお送りください。事務局よりご連絡させていただきます。

- 出展を検討したい。(小間程度)
- 詳しい話が聞きたいので、打ち合せに来てほしい。  
(希望日: 月 日( ) 時)
- 出展を検討するので、資料が欲しい。
- 来場したいので招待券がほしい。( 枚)

E-mail info@tso-int.co.jp

TEL 03-5363-1701 FAX 03-6736-0362

VIV Asia日本代理店

**TSO International株式会社** 担当: 坂田、佐藤

〒160-0007 東京都新宿区荒木町20-21 インテック88ビル9階  
 TEL: 03-5363-1701 FAX: 03-5363-0301 E-mail: info@tso-int.co.jp

※ご記入いただくか、お名刺をお貼りください。

貴社名:	
氏名:	部署・役職:
所在地:	〒
<b>名 刺</b>	
TEL:	FAX:
E-mail:	取扱い 製品・サービス:



アジア最大規模の畜産展示会のVIV Asiaに  
 2019年「フードエンジニアリング(食品加工)」セクションが登場!



# VIV Asia 2019

<https://www.vivasia.nl/en/Bezoeker.aspx>

**開催期間: 2019年3月13日(水)~15日(金)**

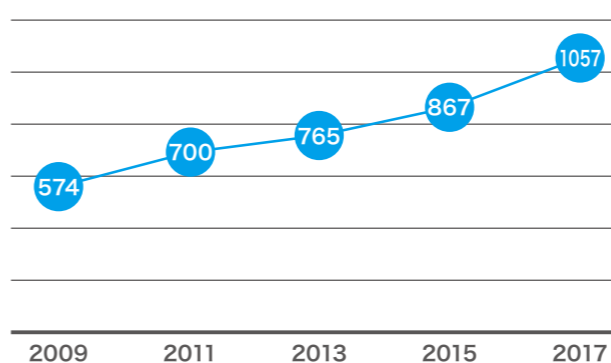
**開催場所: バンコク国際貿易展示場(BITEC) タイ/バンコク**



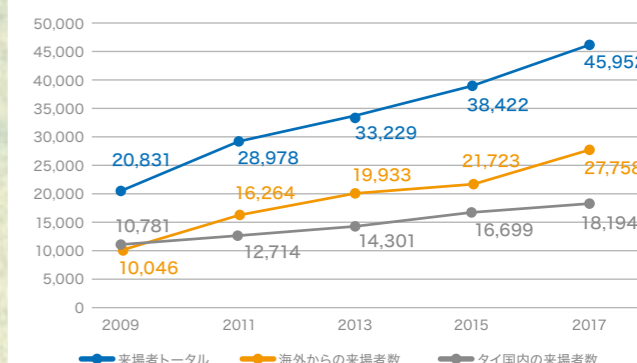
## VIV Asiaとは?

VIV Asia は2年に一度タイのバンコクで開催されている畜産関係の展示会で飼料、原料、機械など、Feed to Food(飼料~完成食品まで)をテーマにした国際展示会です。日本を含め世界中から多くの関係者が参加しており、前回2017年のVIV Asiaには**約127カ国**から**45,952名**が来場し、**1,057の企業**が出展しました。

2009年から4会期連続で  
 出展社数が増加  
 2019年は1250社が参加見込み



来場者も4会期連続で増加  
 2019年は60,000名の  
 来場見込み





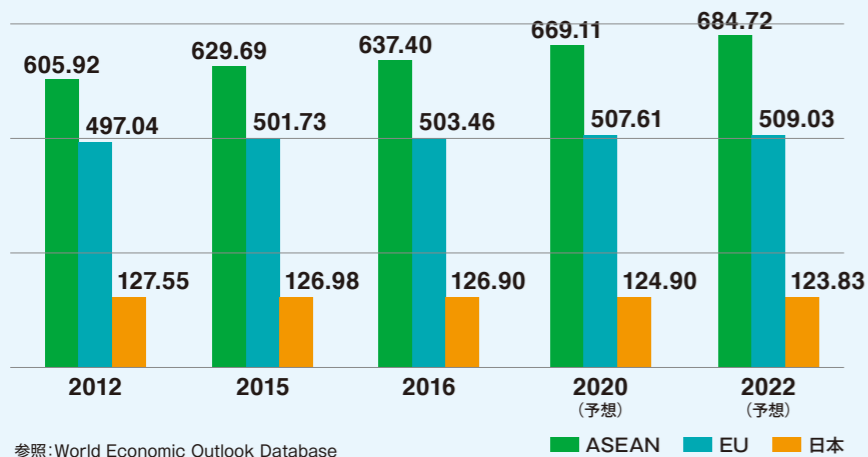
# 今後、大きな成長市場であるASEANは、魅力的なマーケット!

# アジアのクロスロード・タイはASEAN、グレートメコンのゲートウェイとして人生を変える楽園です!

経済規模が年々拡大し、目覚ましい発展を続ける東南アジア諸国は、日本のみならず、アジア諸国、欧米にとっても魅力的なマーケットです。1967年に発足した東南アジア諸国連合（Association of South-East Asian Nations: ASEAN）は、現在では東南アジア10か国の経済・社会・政治・安全保障・文化に関する地域協力機構となっており、貿易の促進や優秀な人材の行き来により、最も経済的・文化的発展が期待される経済地区となっています。企業の継続的な発展にとって、ASEAN地区でのマーケティングと投資は不可欠な戦略となります。



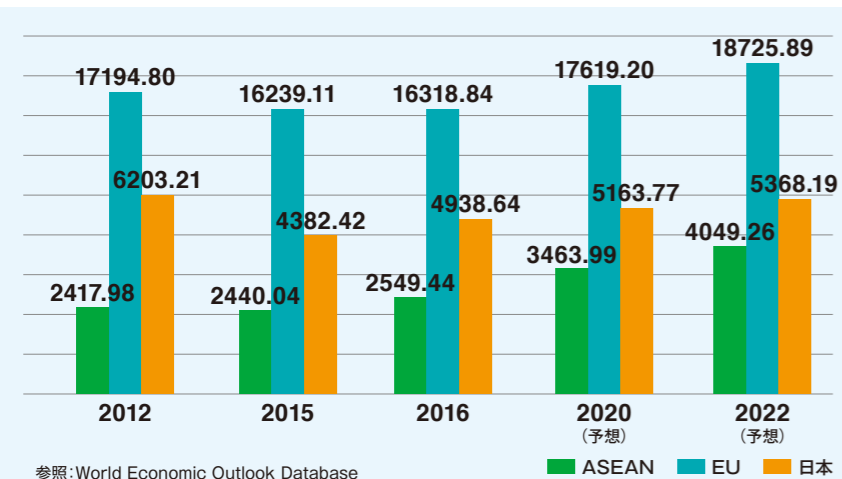
## 年々確実に増加を続ける消費者 (百万人)



人口の爆発的な増加に伴い、消費力旺盛な中間層が増加し、家電製品、自動車、外食、スポーツ、健康産業への関心が高まっています。



## 急激に拡大するGDP (USD10億ドル)



経済規模を示すGDPも爆発的に増加いたします。人口が増えることにより、購買意欲が増加し、中間層の更なる増加により、ASEAN地区全体の経済規模が拡大していきます。新技術や新製品の導入にも積極的に取り組むと想定されています。



## ① 究極のASEANマーケット拠点

アジアのクロスロード・タイは、急速に成長しているASEAN経済共同体(AEC)と新興市場であるグレートメコン地域(GMS)の中心に、多様な目的地があり、アジアの岐路に乗って中心的な役割を果たしています。大きなビジネスの可能性が広がります。世界のデスティネーション - タイは、多様で最先端の展示会場、豊富なホテルと宿泊施設の選択、高度な電気通信インフラストラクチャーなど、世界的に知られるビジネスイベントのパラダイスです。



## ② 日本からのアクセス良好なタイ

日本からタイまでは、成田空港、羽田空港、関西国際空港、中部国際空港(名古屋)、福岡空港、新千歳空港(北海道)、那覇空港(沖縄)の合計7空港からスワンブーム空港もしくはドンムアン空港(ともにバンコク)までの直行便を運航中です。所要時間は約6時間。



## ③ 観光地としての魅力 (タイ、バンコク)

年間約2000万人もの外国人観光客が訪れるバンコクは、古今の歴史と伝統的な仏教文化を身近に感じることができます。観光・グルメ・ショッピング・アクティビティなど、多彩な楽しみ方ができるのも魅力です。

